

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和5年度下半期）

1 地域包括ケアシステムの深化・推進 下半期実績値

(3) 在宅医療の充実および在宅医療・介護連携を図るための体制の整備

評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	下半期実績値	年間実績値	達成度
⑤もーやっこネットワークシステム 登録患者数 ※累計値	介護医療	2,318人	2,037人	2,137人 (12/31時点)	2,137人 (12/31時点)	B
⑤もーやっこネットワークシステム 登録医療機関・事業者数 ※累計値		178件	253件	255件 (12/31時点)	255件 (12/31時点)	A
⑤もーやっこネットワークシステム 投稿件数 ※累計値		96,494件 (※)	84,436件	89,605件 (12/31時点)	89,605件 (12/31時点)	B
⑥在宅医療介護相談件数 ※年間合計	医療	270件	130件	77件 (12/31時点)	207件 (12/31時点)	B
⑦地域住民の普及啓発 (出前講座)件数 ※年間合計	医療地域	26件	7件	3件 (12/31時点)	10件 (12/31時点)	B

(※) 令和4年度下半期から目標値修正
令和5年度上半期より目標値を過去三年の前年度との伸び率の平均値(124%)を前年度の実績値に乗じた数とする。

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価

B

(担当部署評価・評価委員会評価は裏面に記載)

担当部署評価

在宅医療介護連携推進協議会における啓発等により、もーやっこネットワークシステムの登録患者数等は増加している。瀬戸市総合防災訓練と合同し、要援護者の救出状況をシステム上で共有しながら防災訓練を行う等、災害時においても継続的なサービス提供を維持できるように努めることができた。在宅医療介護相談件数においても、周知方法を検討しながら、市民の相談の場として適正に活用できるように努めていく。

出前講座について、令和5年度は件数が伸び悩んでいるものの、地域健康づくりボランティア等新たな団体への周知を積極的に行い、講話のテーマはニーズに応じて柔軟に対応する等、次年度の事業計画に取り入れてもらえるように努めている。

評価委員会評価

もーやっこネットワークシステムにおいて、瀬戸市総合防災訓練と合同して実施した取り組みは画期的であり評価できる。第9期計画においても、活用状況の評価を継続してほしい。また、個人情報の取り扱いの整理を進め、災害時等にも必要な情報を共有できるシステムとなるよう努めてほしい。

在宅医療相談件数において、訪問介護と訪問看護の意思の連携等も増えており、評価できる。

地域住民の普及啓発（出前講座）において、出前講座の開催数は目標値に達成していないものの、普及啓発活動に向けて行った取り組みは評価できる。